

人権センターだより

私たちが感じた人権

令和元年度小中学校人権作文から

「私の描く将来」

中間南中学校2年 山口 果純さん

皆さんは「焼き場に立つ少年」という写真を知っていますか？

私がこの写真を知ったのは、今年の平和学習の時でした。この写真を撮ったのは、ジョー・オダネルさんという人です。ジョー・オダネルさんは米国の記録写真家です。オダネルさんは自分の意志で写真を撮ってはいけないという国のルールに背いて、沢山の写真を残してきました。その代表が「焼き場に立つ少年」です。このような写真が今、生きている私たちに戦争の恐ろしさ、辛さを伝えてくれているように思います。そして、私は戦争の恐ろしさ、辛さは分かりますと思っても分かりません。

だから私は、今回の夏休みを利用して、長崎にいる姉のもとを訪ねました。現在の長崎はとてもにぎやかで、道を歩く人々も楽しそうでした。しかし、このにぎやかな長崎で悲惨で残酷な出来事があったと思うと、胸が痛くなりました。さらに、姉の家の近くに平和記念公園や原爆資料館、浦上天主堂がありました。七十四年前にこの場所でも悲惨な出来事が起きていたというのが、やっぱり過去の事と思う部分にはありません。では、どうやってこの過去の事を今の私たちが後世に受け継いでいけばいいのでしょうか。

実際には体験したわけではないので、リアルな感情や風景はどうしても理解することは難しいです。しかし、私は七十四年たった現在、戦争という辛い過去から目を背けている若者が多いことに同じ若者として、違和感を感じています。これは私自身が身に染みて感じていることですが、学校の平和学習中に眠たそうにしたり、興味がなさそうに話を聞いたりしている人がいます。そして、大人も悲惨さを知らないからと言って他人事のようにして、次の世代に受け継いでいけていないのは、おかしいと思います。

私は何度も何度も考えました。でも、人の意見は十人十色なので、私なりの答えを導き出しました。それは、実際に現地に行ってみたりして、自分で情報を手に入れていくということです。ジョー・オダネルさんが国のルールに背いてまで伝えなかった事とはなんなのかを考え、長崎に行ってみたり見たり、感じたりしたことを周りの人たちにはなし、ほんの小さな事でも共有することによって今まで興味の無かった人たちが少しでも興味を持てるようになってくれたら嬉しいです。

そして、今現在、問題である被爆者の高齢化による被爆体験談をどのように語り継いでいくかはこれからの時代を創っていく、私たちの課題であり、被爆国としての役目でもあるのではないかと私は思います。

近い将来、この世界から戦争や核兵器が無くなり、世界中の人々が平和に過ごせることを願っています。これが私の描く将来です。

※この作文は、令和元年度中に書かれた作品であり、作文の内容と学年の表記は当時のものです。

【私たちが感じた人権 令和元年度小中学校人権作文より】



キムチづくり教室を開催!



LESSON

キムチづくり教室を、12月20日に開催しました。人権・解放学級の一環で、異文化を学ぶ取り組みとして始めたキムチづくりも、今年で14回目を迎えました!

池田先生の指導をいただきながら、野菜(白菜・大根・ニラ・人参など)を切り、ヤンニョム(韓国産唐辛子・ニンニク・魚醤など)をつくり、それらを混ぜ合わせてキムチの完成です。“ちょっとキムチのつまみ食い”をされた参加者から、「おいしい、おいしい。」と絶賛されました。



最後に池田先生より、キムチづくりを始めたきっかけについて、お話していただきました。池田先生は、戦時中に朝鮮半島で生まれ、故郷が韓国という日本人です。自分が生まれた韓国に、何度も行かれたそうです。

現在、日本から一番近い国である韓国とは、様々な問題が山積していますが、先ずはお互いのことを知ることが大切ではないでしょうか。

なやみごと相談



なやみごとや困りごとについて、人権擁護委員(市内在住6名)が無料でご相談を受けます。秘密は厳守されますので気軽にご相談ください。(予約不要)

日程 2/10(水)・3/10(水)

時間 13:30~15:30

問合先 中間市人権センター

中間市岩瀬一丁目17-1

☎093-245-3511

子育て女性再就職支援出張面接相談

子育てと仕事を両立したい女性の方を応援します。

※2日前までに予約が必要です

日程 2/12(金)・3/11(木)

時間 10:00~12:00

相談場所 中間市人権センター

予約問合先 子育て女性就職支援センター

☎093-533-6637



中間市人権センター **ピンクの建物**が目印です!!

住所: 中間市岩瀬1丁目17-1 ☎093-245-3511

